

(2) 運転・作業

運行スケジュールを調整して効率的な作業を実施するとともに、農作業の種類に応じたエンジンの回転速度及び変速位置による作業の励行に努め、必要以上にエンジンの回転速度を上げたり、空運転等を行わないことに努める。

トラクター作業時の留意点

○適正なエンジン回転で作業する。

一般に、必要以上に高いエンジン回転で作業すると、燃費が悪くなる。負荷の状態に合った適正なエンジン回転で作業する。

○適正な走行速度で作業する。

一般に、作業時の走行速度が低いほど、面積当たりの燃料消費量が多くなる。作業精度と所要動力の許容範囲内で、できるだけ高い走行速度で作業する。

○ロータリー耕等のPTO駆動作業では、適正なPTO速度で作業する。

ロータリー耕では、砕土を細かくするほど燃料消費量が多くなる。目標の砕土状態となるようにPTO速度段を設定し、過剰な砕土は控える。

○プラウ耕等のけん引作業では、車輪の滑りが大きくなるようにする。

車輪の滑りが大きくなると、走行速度が低下して面積当たりの燃料消費量が増大する。車輪の滑りが大きい時は、フロントウエイトを加えるなどの対策を取る

○適切な土壌水分時に作業する。

土壌水分が高い時には、作業機等への土付着の増大、車輪の滑りなどの増大などにより、燃費が悪くなる。作業期間に余裕がある場合は、適切な土壌水分時に作業する。

○移動時はエクセルペダルでエンジン回転を調節する。

低い走行速度段に入れ、高いエンジン回転で道路等を移動すると燃費が悪くなる。また、頻繁に急加速、急減速を行うと、同様に燃費が悪くなる。道路等を移動する時は、安全に留意しつつ走行速度段をできるだけ高速に入れ、アクセルペダルの操作で速度調節を行う。

○けん引作業時や移動時には、PTOを切る。

けん引作業時や移動時などPTO動力を使わない時は、PTOを切る。

○作業中断時にはエンジンを停止する。

不要なアイドリング運転をしない。